

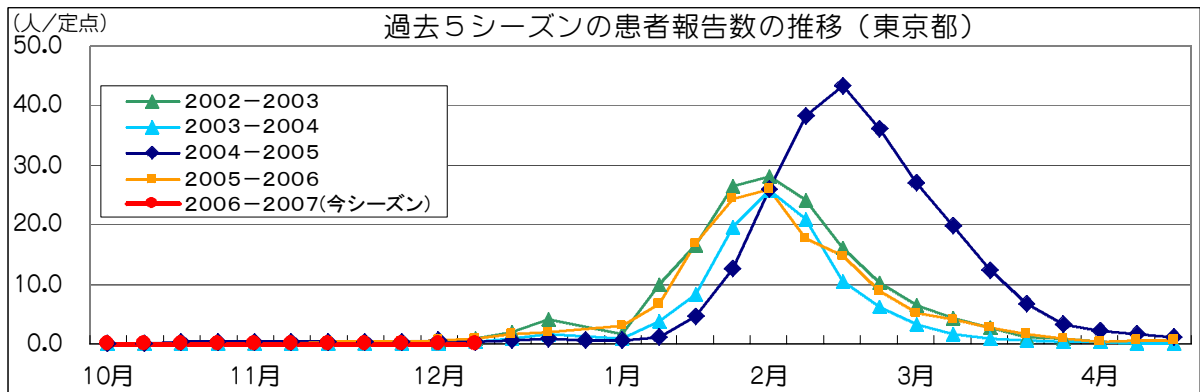
東京都 インフルエンザ情報

東京都健康安全研究センター

今号(第3号)のトピックス

- ・第50週(12/11~17)のインフルエンザ患者報告数は 0人、定点当たり 0.00人
(去年同期 122人、定点当たり0.69人)
- ・4府県からAH1亜型、4県からAH3亜型、5府県からB型が報告される
- ・「今冬のインフルエンザ総合対策(厚生労働省)」標語
＜守って防いでインフルエンザ ～ワクチン、手洗い、マスク、うがい～＞

流行状況



2004-2005シーズンに限り53週があります。

1 患者発生状況

インフルエンザ定点*からの第50週(12/11~17)の患者報告数は東京都で 0人、定点当たり0.00人です(去年同期 122人、定点当たり0.69人)。全国の患者報告数は 954人、定点当たり0.21人です。

*:インフルエンザ定点

インフルエンザの流行状況を把握するために、東京都では小児科定点142か所を含む178か所(全国約5,000か所)の医療機関を「インフルエンザ定点」として指定しています。

2 東京都公立学校の学級閉鎖状況

今シーズンのインフルエンザ様疾患による学級閉鎖はありません。

守って防いでインフルエンザ
～ワクチン、手洗い、マスク、うがい～
(厚生労働省)

厚生労働省

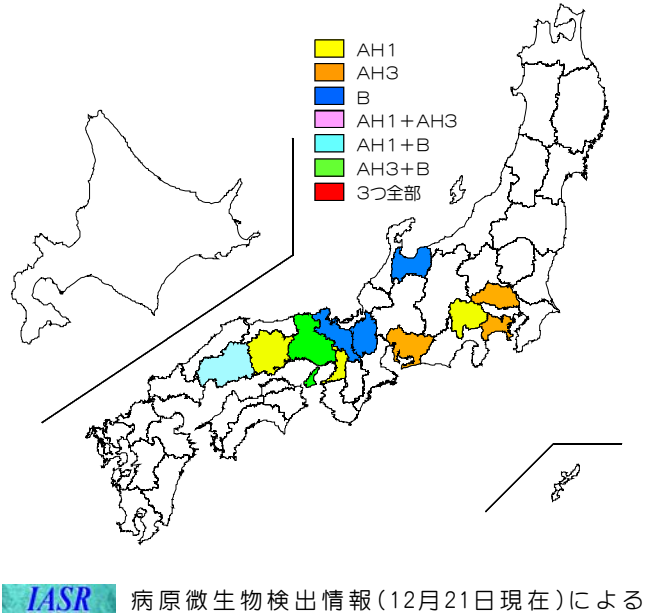
- 人と人との接触した際には、手洗い、うがいを行ってください。
- 流行時期は、毎年1月から3月です。
- 咳などの症状を有する方の咳やくしゃみは、必ず、マスクを着用しましょう。
- 咳やくしゃみの飛沫の届かないよう、インフルエンザウイルスを殺菌・除去する効果のある除菌剤(塩素系手洗剤)の併用により、飛沫の除去を促すことができます。
- インフルエンザについて、疑問がございましたら、かかりつけの医療機関に相談しましょう。



インフルエンザホームページ
<http://www.mhlw.go.jp/bunseki/kenkou/kokaku-kanzenhou1/index.html> 11/10/3/30

インフルエンザ等相談窓口 TEL.03-3200-6784
FAX.03-3200-5209

都道府県別型別検出状況



3 全国の検査情報

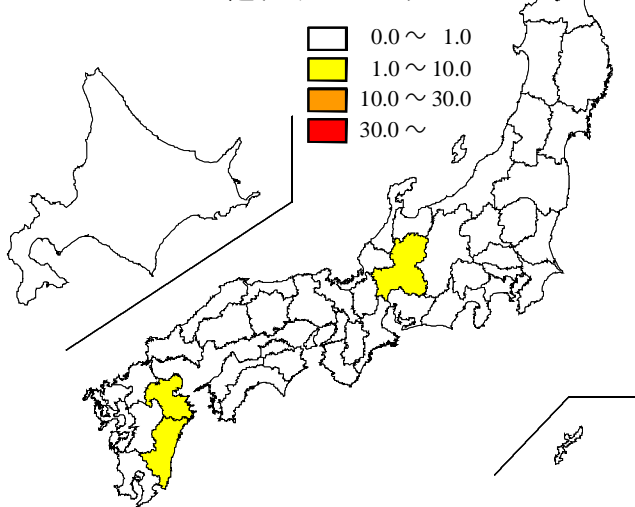
国立感染症研究所発行の病原微生物検出情報(IASR)によると、12月21日までに、4府県からAH1亜型、4県からAH3亜型、5府県からB型が報告されています。

今回新たに、AH1亜型が広島県、AH3亜型が神奈川・愛知の2県、B型が兵庫県から報告されました。

情報提供サイト

- ・東京都感染症情報センター
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/flu/index.html>
- ・国立感染症研究所感染症情報センター
<http://idsc.nih.go.jp/disease/influenza/index.html>
- ・厚生労働省「今冬のインフルエンザ総合対策について」
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/index.html>
- ・インフルエンザQ & A (厚生労働省)
<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/02.html>
- ・日本医師会(インフルエンザ総合対策)
<http://www.med.or.jp/influenza/>

都道府県別定点当たり患者報告数 50週(12/11~17)



4 全国の流行状況

第50週(12/11~17)現在、流行の目安となるインフルエンザ定点当たりの患者報告数が1人を超えているのは宮崎(4.28)・大分(1.91)・岐阜(1.45)の3県です。

東京(0.00)をはじめとする14都県では患者報告数が0人になっています。

感染症発生動向調査で使う週とは

感染症発生動向調査では、暦年の1月から第1週が始まり、12月まで続けて使います。報告週と暦の対応表が下記のアドレスに示されています。

<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kanja/images/calendar-j.html>

◆東京都インフルエンザ情報◆

編集・発行

東京都健康安全研究センター
微生物部疫学情報室
〒169-0073
東京都新宿区百人町3-24-1
TEL: 03-3363-3213
FAX: 03-5332-7365
idsc@tokyo-eiken.go.jp
<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>



古紙配合率70%再生紙を使用しています